

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-32
補助事業名 平成22年度 自転車及び自転車関連施設に関する研究開発等補助事業
補助事業者名 財団法人 自転車センター
(URL) <http://www.kcsc.or.jp/1201-center-top.html>

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地球環境にやさしい自転車の有効活用とその将来性や楽しさについての普及啓発を図るため、近未来型自転車の研究開発、自転車の乗用練習場所の提供、自転車に関する展示と、イベントの開催及び施設の整備を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 自転車の研究開発及びサイクル普及啓発活動事業

(URL) http://www.kcsc.or.jp/1101-hobby_top.html

近未来サイクルと夢の自転車研究開発及びサイクル普及活動 (URL)

自転車の価値高揚を高め、自転車への限りない遊びの原点を追求し人々に楽しまれ・親しまれる夢の自転車「ホビーサイクル」と、時代のニーズに対応するため毎年テーマの見直しを計りながら進めている（自転車の未来を開拓する目的に一般公道での使用に適する）「近未来型自転車」の開発に向け、各種媒体を活用し広く一般大衆に呼びかけアイデアの公募を行いました。平成22年7月18日・19日には近未来サイクル及び夢の自転車研究開発事業広報イベントとして、神戸メリケンパークにて開催の「KOBE LOVEPOROT みなとまつり 2010」、に参加、変わり種自転車23台を展示・試乗会を開催と共にアイデア募集を行いました。おもしろい乗り物部門では、9台、近未来型自転車部門では2台の製作が可能との回答を得て、各自転車製作会社に発注、具現化いたしました。夢の自転車新作発表会の開催効果を一層高めるべく、夢の自転車アイデア賞決定についての審査報告や「発表会開催案内」を各マスコミ40社へ送付。

平成23年3月19日・20日の夢の新作発表会開催イベントを開催。

キャラバン広報においては、本事業の有意義性や地球環境にやさしい自転車が社会における役割などを広く考えて頂ける機会を多くの方々に普及啓発を図る目的で7カ所に於いて活動いたしました。

夢の自転車アイデア作品展の実施

(期間 平成22年4月24日～5月16日)

夢の自転車アイデア募集事業

近未来型自転車のアイデア募集事業

(期間 平成22年7月1日～9月8日)

夢の自転車告知募集イベント「KOBE LOVEPOROT みなとまつり 2010」で実施

(平成22年7月18日 19日 神戸メリケンパーク)

夢の自転車告知募集イベント

KobeLovePort みなとまつり 2010 2010.7.18～19(兵庫県神戸市)



夢の自転車・近未来型自転車の製作・購入
新作おもしろい乗り物（ホビーサイクル）9台
近未来型自転車 2台

製作自転車ご参考写真

最優秀作品

優秀作品

大阪府知事賞

佳作



ヤジキタ道中



たたみでGO



めがせ！甲子園サイクル



いちごショート号

その他新規製作の自転車はコチラをご参照ください。→<http://www.kcsc.or.jp/1107-sakuhin-h22.html>

夢の自転車新作発表会の開催

(期間 平成22年3月19日～20日)

夢の自転車・ホビーサイクル作品集の制作と配布

夢の自転車普及キャラバン隊活動

平成22年 6月 6日 植村直己冒険館関連事業 夢のサイクル広場

平成22年 9月 23日 おおさか交通安全ファミリーフェスティバル

平成22年 9月 24日 みちの環境フェスティバル 2010

平成22年 9月 26日 五條市 まきまつり

平成22年 11月 14日 自転車交通安全フェスティバル

【インテックス大阪】

平成22年 12月 19日 アドプト10周年泉北笑働ねっと 1st イベント

平成23年 3月 6日 一宮けいりん自転車交通フェア

キャラバン広報活動実施参考写真



植村直己冒険館関連事業



おおさか交通安全ファミリーフェスティバル



みちの環境フェスティバル 2010



五條市 まきまつり



自転車交通安全フェスティバル



アドプト10周年泉北笑働ねっと 1st イベント



一宮けいりん自転車交通フェア

② サイクル普及啓発事業

ア、初心者第2練習広場新設工事

(URL) http://www.kcsc.or.jp/0119-syosinsya_hiroba.html

社会問題にもなっております自転車に纏わる交通事故発生の数増加や車社会における車の交通量の増加、公園などの自転車乗り入れ禁止等、自転車の取り巻く環境が激変に伴い安全に自転車乗車練習広場が激減しております。その中安心して小さな子供達も含めた不特定多数の来場者に対し、楽しみながら自転車練習のできる初心者のための練習広場を新設致しました。

初心者第2練習広場新設



イ、自転車の可能性 「エコ快適化計画」地球温暖化ストップ KCSC+ECO

(URL) <http://www.kcsc.or.jp/0901-eco.html>

自転車は二酸化炭素を排出しない移動手段として地球環境に優しい乗り物であり、自転車を通じて健康促進活用の観点からキックオフイベントとして「環境に優しい自転車発電体験展」を開催、また小学生から大人の方までの当センター入場者をはじめ競輪選手会の方々が自転車発電装置で電気をつくり、自転車発電による電気のみ利用したライブを開催。自転車発電には不特定多数の方々に参加して頂きエネルギーの大切さを体験して頂くと共に自転車の環境への貢献度も実感して頂きました。

サイクリングコース（3km）にて提案型自転車発表会を開催しました。各自転車メーカーの展示試乗会と共に大阪サイクリング協会の会員の方による自転車メンテナンスの講習会や河内長野警察によります自転車安全講習会や展示ブースの設置、堺一輪車協会による一輪車講習会等の開催を行いました。

「地球温暖化と自転車の果たせる役割についての展示」といたしまして近年の守旧環境を考える上で、自転車の果たせる位置づけを認知していただけるように環境に優しい自転車の普及啓発パネル展示を開催。

地球温暖化ガス削減手段として認知の高い太陽光発電使ったエコ快適サインを設置し地球温暖化抑制の普及啓発を行いました。

キックオフイベントとして水木 一郎氏を招き

自転車発電ライブを開催 （平成22年 9月19日）

自転車新作発表会を実施
大阪サイクリング協会にて自転車メンテナンス教室
地球温暖化防止普及啓発パネル展示
河内長野市警察による自転車安全講習
堺一輪車協会による一輪車ショー及び教室

(平成23年3月 12日～13日)

地球温暖化抑制の表現 ポールサイン設置



キックオフイベント



自転車試乗



自転車安全講習



メンテナンス教室

その他実施状況はコチラをご参照ください。 <http://www.kcsc.or.jp/1211-h22-kikai-02-hukyuu.html>

ウ、サイクルミュージカルラリー（歌で自転車と触れ合おう）

(URL) <http://www.kcsc.or.jp/0801-edu.html>

当センターの情報発信源であるターミナルハウスを利用し、小さなお子様からご年配の方々まで全年齢の方々に楽しく耳に残る歌を通じて自転車の歴史、効果、健康、交通安全やすばらしさなどを触れ合って頂く教育型ブースを設置。

サイクルミュージカルラリーブース設置 3カ所



その他実施状況はコチラをご参照ください。

<http://www.kcsc.or.jp/0901-eco.html>

2 予想される事業実施効果

①自転車の研究開発及びサイクル普及啓発活動事業

近未来サイクル及び夢の自転車研究開発事業

夢の自転車研究開発事業は、各業界関係者との協力により一般市民が望む今後の新しい自転車の創造性やデザイン等、多様な方向を模索し、実用に向け開発を行っており、応募件数が毎年増加傾向にあり多方面において事業の広がりが見え、キャラバン隊の活動を通じてより広く一般市民の参加者に各方面にて事業の成果を公表できた事は自転車産業への市民の理解がより一層深まると予想されます。

②サイクル普及啓発事業

ア、初心者第2練習広場新設工事

地球環境の大切さが年々叫ばれる昨今、便利さのみが優先する社会に於いて自転車が日常利用され

る環境が整って参りましたが、社会において自転車を取り巻く環境は未発達な面が数多くあります。その中自転車に乗ることのできない子ども達に安心して自転車の練習する環境を整え利用者増化傾向にする事で、自転車の発展と販売増加に繋がり、環境にやさしい社会づくりにも繋がり強いては自転車競技人口の増加及び業界の発展に繋がります。

自転車の可能性及び将来性を感じて頂く事は、自転車が持つ役割や社会に貢献できる場面が数多く普及することであり、自転車の利用促進や安全の向上に繋がるものと予想されます。

イ、自転車の可能性 「エコ快適化計画」地球温暖化ストップ KCSC+ECO

当センターは、自転車とのふれあいを通じて「自転車」「サイクルスポーツ」振興を不特定多数の来場者に普及啓発しており来場されます方々が、自転車と触れ合う事で、自転車による環境に対する貢献度や健康に対する関心が深まることで自転車の可能性や創造性を高め、関心を深めることが期待できます。

本事業では、自転車を通して地球温暖化や環境問題を取り上げる事で、子どもから大人まで楽しく自転車に触れ、やさしく社会の問題点を意識して頂け、自転車における環境問題が不可欠な繋がりとして、認識して頂くことで自転車普及の増加に繋がると考えられます。

身近な自転車を題材に自転車新作発表会を行う事で、現在の自転車関連の動向を感じて頂けます。また、自転車普及啓発を目的に地球環境問題についての展示パネルを制作し太陽光発電シンボルタワーなどを恒久的に設置する事は、地球環境問題を考える機会を与え、エコ対策に繋がる自転車利用促進の普及啓発に寄与する物であります。

ウ、サイクルミュージカルラリー（歌で自転車と触れ合おう）

当センターは、自転車とのふれあいを通じて「自転車」「サイクルスポーツ」振興を不特定多数の来場者に普及啓発しており、自転車と触れ合う事を目的に来場されます。来場者の方々が、自転車の歴史交通安全や環境などをテーマに再認識して頂き、環境に対する貢献度や健康に対する関心を深めることで自転車の可能性や創造性を高める事ができると考えます。また、学校団体における教材の一つとして活用頂けるような環境を整え将来の子ども達に自転車のすばらしさ等を体験頂く事が期待できます。

3 本事業により作成した印刷物等

① 普及奨励事業

近未来サイクル及び夢の自転車研究開発事業

○夢の自転車作品集	1,000部
○アイデア募集要項	1,000部
○夢の自転車アイデア応募用紙及びアンケートちらし	3,000部
○募集チラシ	2,000部
○事業案内	2,000部



夢の自転車作品集



募集要項



応募用紙及びアンケートちらし



募集チラシ



募集案内

<http://www.kcsc.or.jp/1211-h22-kikai-01-yume.html>

② サイクル普及啓発事業

ウ. サイクルミュージカルラリー(歌で自転車と触れ合おう)

○案内パンフレット

20,000部

(URL) <http://www.kcsc.or.jp/1211-h22-kikai-02-hukyuu.html>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 財団法人 自転車センター (ザイダンハウジンジテンシャセンター)

住所: 〒586-0086

大阪府河内長野市天野町1304番地

代表者: 役職名 理事長 森本 龍男(モリモト タツオ)

担当部署： 総務部（ソウムブ）
担当者名： 役職名 課長補佐 永池 摩耶（ナガイケ マヤ）
電話番号： 0721-54-3100
F A X： 0721-54-1717
E-mail： <mailto:soumu@kcsc.or.jp>
U R L： <http://www.kcsc.or.jp/>